

明細書

吸収性物品

5 技術分野

本発明は、吸収性物品に関し、さらに詳細には、吸収性物品の後処理を始め、当該吸収性物品の締め付けや補修あるいは乳幼児の知育等の多目的に使用できる止着ワッペンを備えた吸収性物品に関する。

10

背景技術

従来、使い捨ての紙おむつや生理用ナプキン、あるいは各種パッド等の吸収性物品は、目的や用途により形状の異なる種々のものが一般に知られ、実用化されているが、その物品本体の基本的な構成は大差がないものといえることができる。

15

例えば、第1図に展開平面図で示すような吸収性物品、すなわちパンツ式の使い捨て紙おむつ1は、ポリエチレン等から成るバックシート2上に、前部と後部の腰周り部分に糸ゴム等から成る複数本の弾性伸縮部材3、4を配設すると共に、一方の脚周りの前身頃F端から紙おむつ本体5の下部を巡って他方の脚周りの前身頃F端に連続した第1弾性伸縮部材6と、一方の脚周りの後身頃B端から紙おむつ本体5の股下部分を巡って他方の脚周りの後身頃B端に連続した第2弾性伸縮部材7を配設し、このバックシート2上に吸収体8を配置し、さらにこの上に不織布等から成る透液性トップシート9を重ね、予め砂時計状に形成された紙おむつ本体5を中心線C-Cを基準とし、矢印Y0で示すように、長手方向中央部から前後方向に折り畳み、この両側縁部分をヒートシール溶着又は超音波溶着等により接合することにより第2図に

20

25

斜視図で示すようなパンツ式の紙おむつとしたものである。

5 なお、この他の変更例として、目的や用途等により、紙おむつ本体 5 に立体ギャザーや平面ギャザーが設けられたもの、あるいはバックシート 2 の内側に防水フィルムが設けられたもの等が公知である。

10 ところで、このような使い捨ての紙おむつ 1 には、第 2 図に示すように、後処理時に使用される部材、すなわち廃棄用止着テープ 10 が後身頃 B の中央部上方に位置するバックシート 2 の表面から突出した状態で設けられている。この廃棄用止着テープ 10 は、第 3 図に第 2 図の X-X 断面矢視図で示すように、通常、一端部 10 a がバックシート 2 の上面にヒートシール等により固定され、中央部 10 b で複数回折り返された後、剥離できる程度に粘着剤 11 により貼着され、先端部 10 c を摘んで引き出すことができるように設けられている。この廃棄用止着テープ 10 は、
15 紙おむつ 1 の廃棄時に先端部 10 c を摘んで矢印 Y 1 方向に引き出し、紙おむつ 1 をぐるぐると巻き上げてコンパクトにした後この後端部を止着するように使用される（例えば、実開平 6-77722 号公報参照。）。

20 しかしながら、このような廃棄用止着テープ 10 が設けられた使い捨ての紙おむつ 1 では、テープ自体がバックシート 2 の外面から突出しているため、着用者、とくに乳幼児が着用中に手でさわ
25 り、廃棄用止着テープ 10 を無意識の内に引っ張ってしまうことがあった。このように廃棄用止着テープ 10 を一旦引き出してしま
うと、この廃棄用止着テープ 10 が紙おむつ 1 から垂れ下がって粘着部 11 があちこちに付着し、後処理ができなくなるばかりでなく、見た目にも悪いものとなっていた。また、このような廃棄用止着テープ 10 は、あくまでも後処理時にのみ使用されるものであって、格別な目的を有するものではなかった。

本発明は、上述したような実情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、乳幼児等の着用者が着用中に引き出してしまふことがなく、物品本体の外面对し自由に着脱ができ、かつ必要なときにはいつでも何度でも使用することができ、また、紙
5 おむつ本体の身体への締め付けやサイドシール部の破損時における脇部補修としても使用でき、さらにまた、乳幼児の知育目的としても使用できるようにした、用途の極めて広い止着ワッペンを備えた吸収性物品を提供することにある。

10 発明の開示

本発明の上記目的は、身体側の透液性トップシートと、外面側のバックシートとの間に吸収体が介在された物品本体を長手方向中央部から折り畳むことにより前身頃及び後身頃が形成され、かつ当該物品の後処理時に使用する止着ワッペンを備えた吸収性物
15 品であって、前記止着ワッペンを前記バックシートの外面对し再接着再剥離可能で前記物品本体から完全に分離できるシート状部材を外面に取付けた使い捨てシートで構成したことを特徴とする吸収性物品を提供することにより達成される。

また、本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、前記前身頃
20 又は前記後身頃に止着されていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

また、本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、表面にデザインが施されていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

25 また、本発明の上記目的は、前記デザインは乳幼児の知育を目的としたものであることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

また、本発明の上記目的は、前記デザインは、前記物品本体の

外面に施されたデザインの柄と関連していることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

- また、本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、前記デザインが施された部分、又はこれ以外の部分がミシン目によりワッペン基体から分離可能に設けられていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

- また、本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、中央部に伸縮性を有するシート材を有し、前記再接着再剥離可能で前記物品本体から完全に分離できるシート状部材は該シート材の両側に連結されて成っていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

また、本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、当該物品に複数枚備えられていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

- さらに本発明の上記目的は、前記止着ワッペンは、当該吸収性物品の製品パッケージに添付又は封入されていることを特徴とする吸収性物品を提供することにより、効果的に達成される。

- 本発明に係わる吸収性物品（以下、「本吸収性物品」という）によれば、止着ワッペンがバックシートの外面（とくにバックシートの前身頃又は後身頃の外面）に着脱自在に止着されているので、本吸収性物品の後処理や整理、あるいは破損部分の補修等が必要となときには、いつでも、また何度でも剥がして使用することができる。また、この止着ワッペンは平坦なシート材で構成され、引っ掛かり部分がないため、乳幼児等の着用者が着用中に手に引っ掛けて引き出してしまう心配がない。

とくに、前記止着ワッペンの表面にデザイン（とくに乳幼児の知育を目的とした絵柄から成るデザイン）が施された本吸収性物品によれば、上記効果に加え、乳幼児等が好んで着用するように

なり、知育を兼ねておむつ交換を楽しく行うことができる。

また、前記デザインを物品本体の外面に施したデザインと関連する柄のデザインとした本吸収性物品によれば、デザインの優れた違和感のない紙おむつとすることができ、また、乳幼児のデザインに対する関心度をさらに高めることができる。

また、前記デザインが施された部分、又はこれ以外の部分がミシン目によりワッペン基体から分離できるように構成された本吸収性物品によれば、分離したシートを乳幼児の知育目的や遊戯具として利用することができる。

とくに、前記止着ワッペンが中央部に伸縮性を有するシート材を有して成る本吸収性物品によれば、この伸縮性を有するシート材を介して本吸収性物品を一層強く締め付けることができる。

また、前記止着ワッペンを物品本体に複数枚備えた本吸収性物品によれば、上述した本吸収性物品の後処理や整理、あるいは補修に際し多く使用することができ、これによりコンパクトに処理することができる。

さらにまた、前記止着ワッペンを本吸収性物品の製品パッケージに備えることにより、ユーザーに対する利便性を向上させることができる。

20

図面の簡単な説明

第1図は従来の紙おむつの展開平面図である。

第2図は第1図に示す紙おむつの組立体の斜視図である。

第3図は第2図におけるX-X断面矢視図である。

第4図は本発明に係わる紙おむつの斜視図である。

第5図は第4図に示す紙おむつを平坦に折り畳んで正面から見た図である。

第6図は本発明の要部である止着ワッペンの斜視図である。

第 7 図は第 6 図に示す止着ワッペンの横断面図である。

第 8 図は紙おむつの廃棄状態を示す斜視図である。

第 9 図は止着ワッペンの変更例を示す斜視図である。

第 10 図は止着ワッペンの変更例を示す斜視図である。

5 第 11 図は止着ワッペンの変更例を示す斜視図である。

第 12 図は止着ワッペンの変更例を示す斜視図である。

第 13 図は止着ワッペンを製品パッケージに添付した状態を示す斜視図である。

10 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の内容を、収性物品が使い捨ての紙おむつである場合を例に説明するが、本発明は必ずしもこの実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲を逸脱しない範囲内において種々の変更ができることはいうまでもない。

15 第 4 図は、本発明の一実施形態に係わるパンツ式の使い捨て紙おむつ（以下「本紙おむつ」という）101の組立体、すなわち着用時の状態を示す斜視図、第 5 図はこの紙おむつ 101 を平坦に畳んで後身頃 100B 側から見た図である。なお、本紙おむつ 101 は、後述する止着ワッペン 110 を主とする構成の一部を
20 除き、その他の構成は前述した従来の紙おむつ 1 と実質的に同一であるので、以下では紙おむつ 1 と対応する構成部品には 100 番台の同一の符号を付して説明する。

本紙おむつ 101 は、前記紙おむつ 1 と同様に、ポリエチレン等から成るバックシート 102 上に、前部と後部の腰周り部分に
25 糸ゴム等から成る複数本の弾性伸縮部材 103、104 を配設すると共に、一方の脚周りの前身頃 100F 端から紙おむつ本体 105 の下部を巡って他方の脚周りの前身頃 100F 端に連続した第 1 弾性伸縮部材 106 と、一方の脚周りの後身頃 100B 端か

ら紙おむつ本体 105 の股下部分を巡って他方の脚周りの後身頃 100B 端に連続した第 2 弾性伸縮部材 107 を配設し、この不透過バックシート 102 上に吸収体 108 を配置し、さらにこの上に不織布等から成る透液性トップシート 109 を重ね、予め砂
5 時計状に形成された紙おむつ本体 105 を長手方向中央部から前後方向に折り畳み、この両側縁部分をヒートシール溶着又は超音波溶着等により接合することにより第 4 図に斜視図で示すようなパンツ式の紙おむつとしたものがある。

本紙おむつ 101 では、紙おむつ本体 105 の外面、すなわち
10 バックシート 102 の外面全域に雲型模様を象ったデザイン 120 が分散して印刷されており、前身頃 100F の中央部上方のバックシート 102 外面には止着ワッペン 110 が止着されている。

この止着ワッペン 110 は、一辺が 5 cm 前後のプラスチックフィルムから成る矩形状の基体シート 111 で形成され、この裏
15 面側の上下端部側には矩形状の面ファスナー 112a、112b が接着されて成っている。このように、この止着ワッペン 110 は、バックシート 102 の外面に対し再接着再剥離可能で物品本体 105 から完全に分離できるシート状部材、すなわち面ファスナー 112a、112b を有して成る使い捨てシートで構成され
20 ている。

この基体シート 111 面の中央部には動物（小熊）が飛行機に乗っている模様を象ったデザイン 130 が印刷されている。なお、第 6 図に斜視図で、第 7 図に横断面図で示すように、このデザイン 130 が施されたシート 111a は外周にミシン目による切取
25 線 131 が刻設されていて、矢印 Y2 で示すように、デザイン 130 が施されたシート 111a は基体シート 111 の輪郭部を残し、面ファスナー 112a、112b から剥ぎ取ることができるようになっている。なお、このようにして剥ぎ取られたシート 1

1 1 a は、一種のワッペンとしての機能を有し、着用者である乳幼児の知育目的や遊戯具として利用される。

ここに、上述した各デザイン 1 2 0、1 3 0 は、周知の印刷技法により施すことができ、また、施されるデザインも、目的に応じ、任意の絵柄、模様、あるいは文字等を自由に選定することができる。なお、デザインについては、デザイン 1 2 0 とデザイン 1 3 0 とを互いに関連させ、違和感のないものとするのが、乳幼児の関心度、あるいは紙おむつのデザインの面から好ましい。

一方、止着ワッペン 1 1 0 の裏面側において互いに離間して設けられる面ファスナー 1 1 2 a、1 1 2 b は、断面形状がフック状、あるいはきのこ状をなす鉤状部材、すなわちオス材 1 1 2 a 1、1 1 2 b 1 を表面に有する公知のものである。このオス材 1 1 2 a 1、1 1 2 b 1 がバックシート 1 0 2 によって形成されるループ状の係止部材、すなわちメス材と係合することによりメカニカルシールが構成され、この止着ワッペン 1 1 0 がバックシート 1 0 2 の外面の所定位置に着脱自在に止着される。したがって、この止着ワッペン 1 1 0 は、必要なときにはいつでも剥ぎ取って使用することができ、また、何度でも使用することができる。

以上のとおり構成された本紙おむつ 1 0 1 を廃棄者が廃棄する場合には、先ず止着ワッペン 1 1 0 をバックシート 1 0 2 の所定の位置から剥ぎ取り、併せてシート 1 1 1 a を面ファスナー 1 1 2 a、1 1 2 b から剥ぎ取った後、第 8 図に斜視図で示すように、本紙おむつ 1 0 1 を巻上げ、この後端部を止着ワッペン 1 1 0 で止着することにより作業を終了する。

以上のとおり、本紙おむつ 1 0 1 では、止着ワッペン 1 1 0 が紙おむつ本体 1 0 5 の外面、すなわちバックシート 1 0 2 の外面に対し平坦に（従来の紙おむつのように突出することなく）止着され、必要なときにはいつでも何度でも使用することができるよ

うに設けられているので、この止着ワッペン 110 は、本紙おむつ 101 の廃棄時に限らず、例えば本紙おむつ 101 を着用したときに緩る過ぎるような場合に、この緩み部分をたくし上げ、止着ワッペン 110 を止着することにより緩み止めを図ることができる。また、上述したようにデザイン 130 が施されたシート 111a を乳幼児が好む一種のワッペンとして使用することができ、乳幼児の知育や遊戯具としても利用できる利点がある。また、本紙おむつ 101 を着用者にはかせようとしてサイドシール部等を破損してしまったような場合には、この止着ワッペン 110 を脇部補修として使用することができる。

また、紙おむつ本体 105 のデザイン 120 と止着ワッペン 110 のデザイン 130 とが互いに関連するもの、すなわち飛行機が雲の浮かぶ空中を飛んでいる絵柄をデザインしたものであるので、着用者の乳幼児等が好んで着用するようになり、また、おむつ交換を楽しく行うことができるという利点がある。

以上、本発明の内容を一実施例に基き説明したが、本発明は構成を次のように変更することができる。

第 9 図は、本発明の変更例に係わる止着ワッペン 140 を裏面側から見た斜視図である。

図示するように、この止着ワッペン 140 は、全体形状が楕円状をなし、中央部に例えばプラスチックシートあるいはゴムシート等の伸縮性を有する矩形状の基体シート 141 を有し、この基体シート 141 の両側に半円形をなし、裏面に夫々オス材 142a1、142b1 を有する面ファスナー 142a、142b が接着されて成っている。このように構成された本止着ワッペン 140 は、前記実施形態と同様に紙おむつ本体 105 の前身頃 100F、あるいは後身頃 100B の紙おむつ本体 105 の外面、すなわちバックシート 102 の外面に止着されており、使用時には、

前記同様に止着位置から剥ぎ取られて使用されるが、本止着ワッペン 140 ではその中央部に伸縮性を有する基体シート 141 が設けられているので、矢印 Y3 で示す両方向に引っ張りながら止着することにより、より強固に止着することができる。よって、
5 前述した紙おむつ 101 を一層コンパクトに巻き上げて保管したり廃棄することができ、また、着用時の緩み部分を一層強く締め付けることができる。

第 10 図は、本発明の他の変更例に係わる止着ワッペン 150 を示すもので、(A) はその平面図、(B) はその側面図である。
10 この止着ワッペン 150 は、全体形状が多角形状をなす基体シート 151 の表面に絵柄 160 と、止着位置合わせ用のマーク、すなわちレジマーク 170 を印刷してなるデザインが施され、裏面には夫々オス材 152a1、152b1 を備えたシート材 152a、152b が接着されて成っている。この止着ワッペン 150
15 によれば、上記効果に加え、止着位置合わせが容易となる利点がある。

第 11 図は、本発明のさらに他の変更例に係わる止着ワッペン 180 を示すもので、(A) はその平面図、(B) はその側面図である。この止着ワッペン 180 は、全体形状が矩形状をなす基体
20 シート 151 の表面にアルファベット文字 190 が印刷され、裏面の全域にオス材 152 が形成されているものである。この止着ワッペン 180 によれば、止着面積が増大されるので、止着力がアップする利点がある。

このように、本発明に係わる止着ワッペンは、その形状及び構成を、必要に応じ、種々のものに設計することができる。
25

なお、以上は一枚の止着ワッペンを一着の吸収性物品に止着するようにしたものであるが、この止着ワッペンの枚数は必要に応じ増やすようにしてもよく、例えば第 12 図に正面図で示すよう

に、吸収性物品 4 0 1 の前身頃 4 0 0 F 位置に複数枚（この例では 3 枚）の止着ワッペン 4 1 0 a、4 1 0 b、4 1 0 c を止着するようにしてもよい。このように数多く準備された止着ワッペン 4 1 0 a、4 1 0 b、4 1 0 c を使用することにより、吸収性物品 2 0 1 をよりコンパクトに折り畳むことができる。

なお、このように吸収性物品をコンパクトに折り畳むことは必ずしも廃棄時に限られるものではなく、この止着ワッペンを当該吸収性物品の使用前の整理時においても同様に使用することができるというまでもない。

10 また、本発明においては、この止着ワッペンを、例えば第 1 3 図に斜視図で示すように、複数個の紙おむつ製品 2 0 0 が収納され、市場に出荷される製品パッケージ 3 0 0 の表面、例えば側面 3 0 1 にポケット 3 0 2 を設け、このポケット 3 0 2 の内部に前述したような各種の止着ワッペンを封入し、あるいは製品パッケージ 3 0 0 に添付してユーザーに渡るようにすることもできる。

産業上の利用可能性

本発明に係わる吸収性物品は、上述した使い捨て紙おむつに限らず、生理用ナプキンや各種パッドに適用されるものであることは前述したとおりである。

請求の範囲

1. 身体側の透液性トップシートと、外面側のバックシートとの間に吸収体が介在された物品本体を長手方向中央部から折り畳むことにより前身頃及び後身頃が形成され、かつ当該物品の後処理ほかに使用する止着ワッペンを備えた吸収性物品であって、前記止着ワッペンを前記バックシートの外面に対し再接着再剥離可能で前記物品本体から完全に分離できるシート状部材を外面に取付けた使い捨てシートで構成したことを特徴とする吸収性物品。
- 5
- 10
2. 前記止着ワッペンは、前記前身頃又は前記後身頃に止着されていることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性物品。
3. 前記止着ワッペンは、表面にデザインが施されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の吸収性物品。
- 15
4. 前記デザインは乳幼児の知育を目的としたものであることを特徴とする請求項 3 に記載の吸収性物品。
- 20
5. 前記デザインは、前記物品本体の外面に施されたデザインの柄と関連していることを特徴とする請求項 3 又は請求項 4 に記載の吸収性物品。
- 25
6. 前記止着ワッペンは、前記デザインが施された部分、又はこれ以外の部分がミシン目によりワッペン基体から分離可能に設けられていることを特徴とする請求項 3 ないし請求項 5 のいずれかに記載の吸収性物品。

7. 前記止着ワッペンは、中央部に伸縮性を有するシート材を有し、前記再接着再剥離可能で前記物品本体から完全に分離できるシート状部材は該シート材の両側に連結されて成っていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載の吸収性物品。

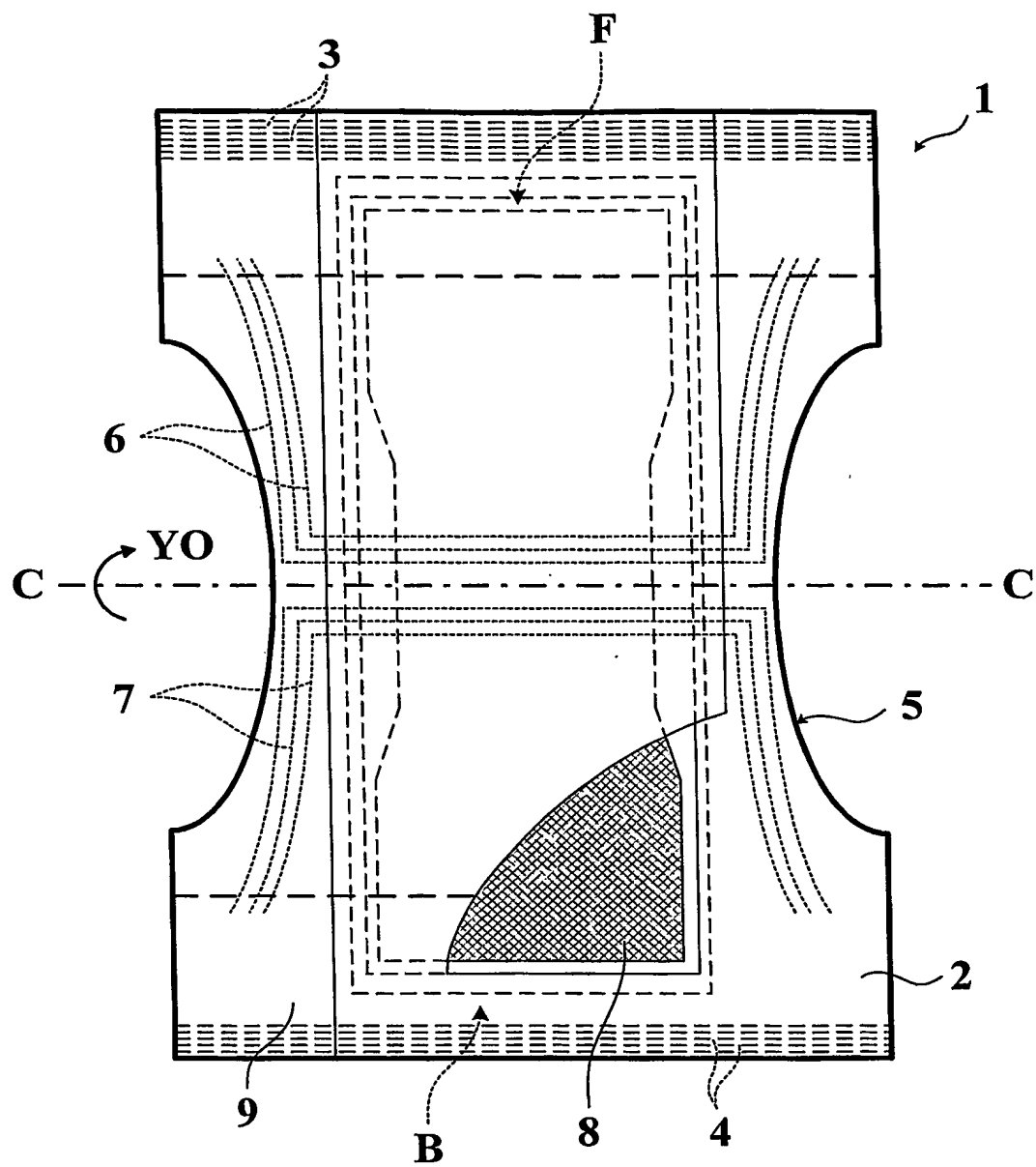
5

8. 前記止着ワッペンは、当該物品に複数枚備えられていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 7 のいずれかに記載の吸収性物品。

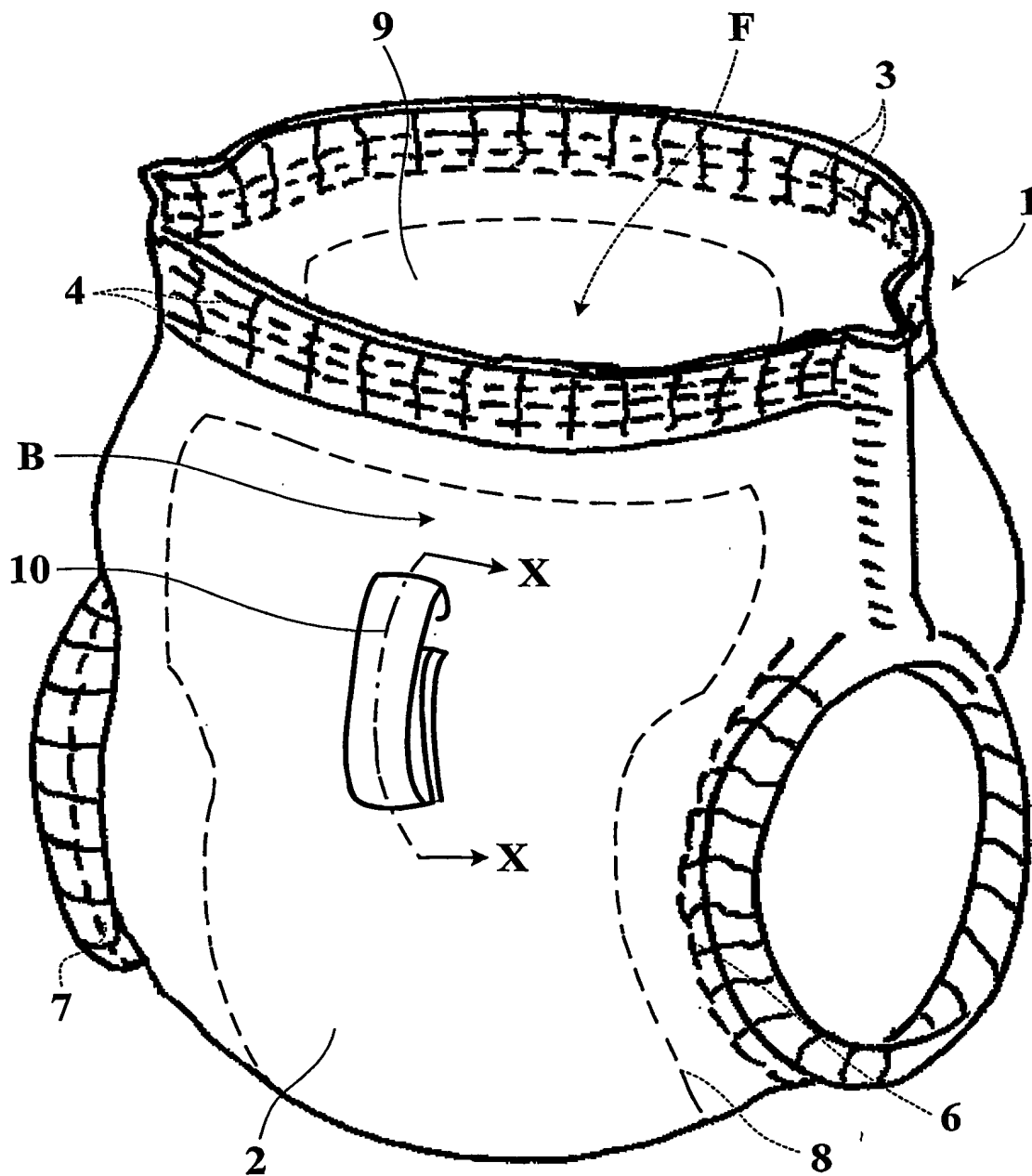
10

9. 前記止着ワッペンは、当該吸収性物品の製品パッケージに添付又は封入されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 8 のいずれかに記載の吸収性物品。

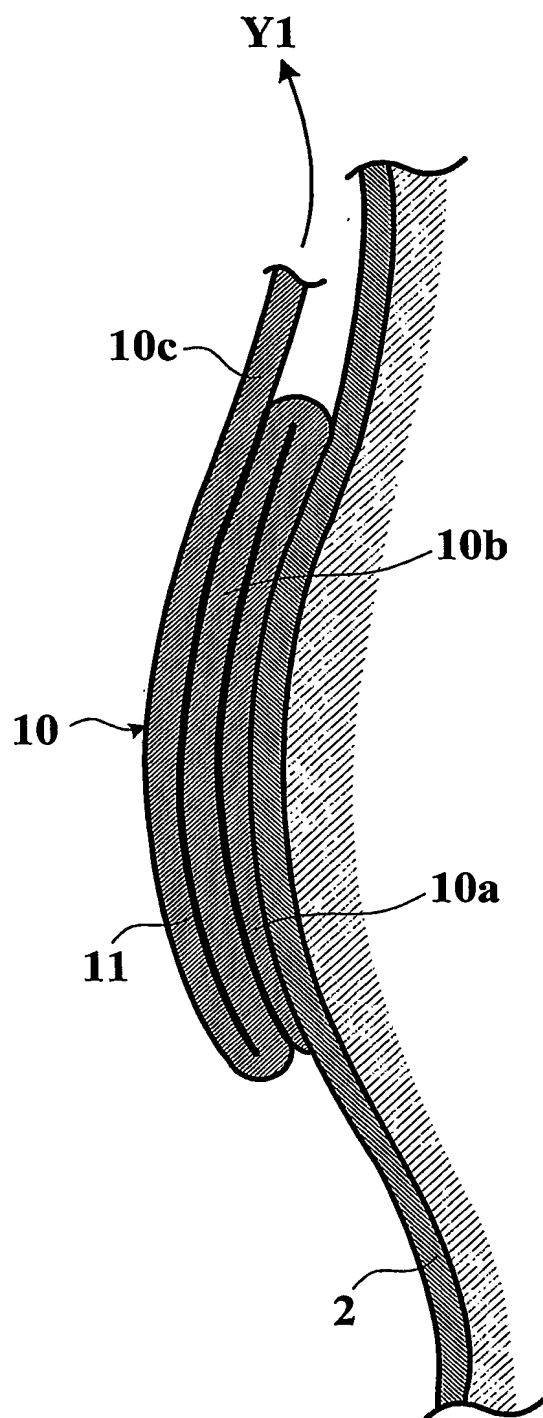
第1図



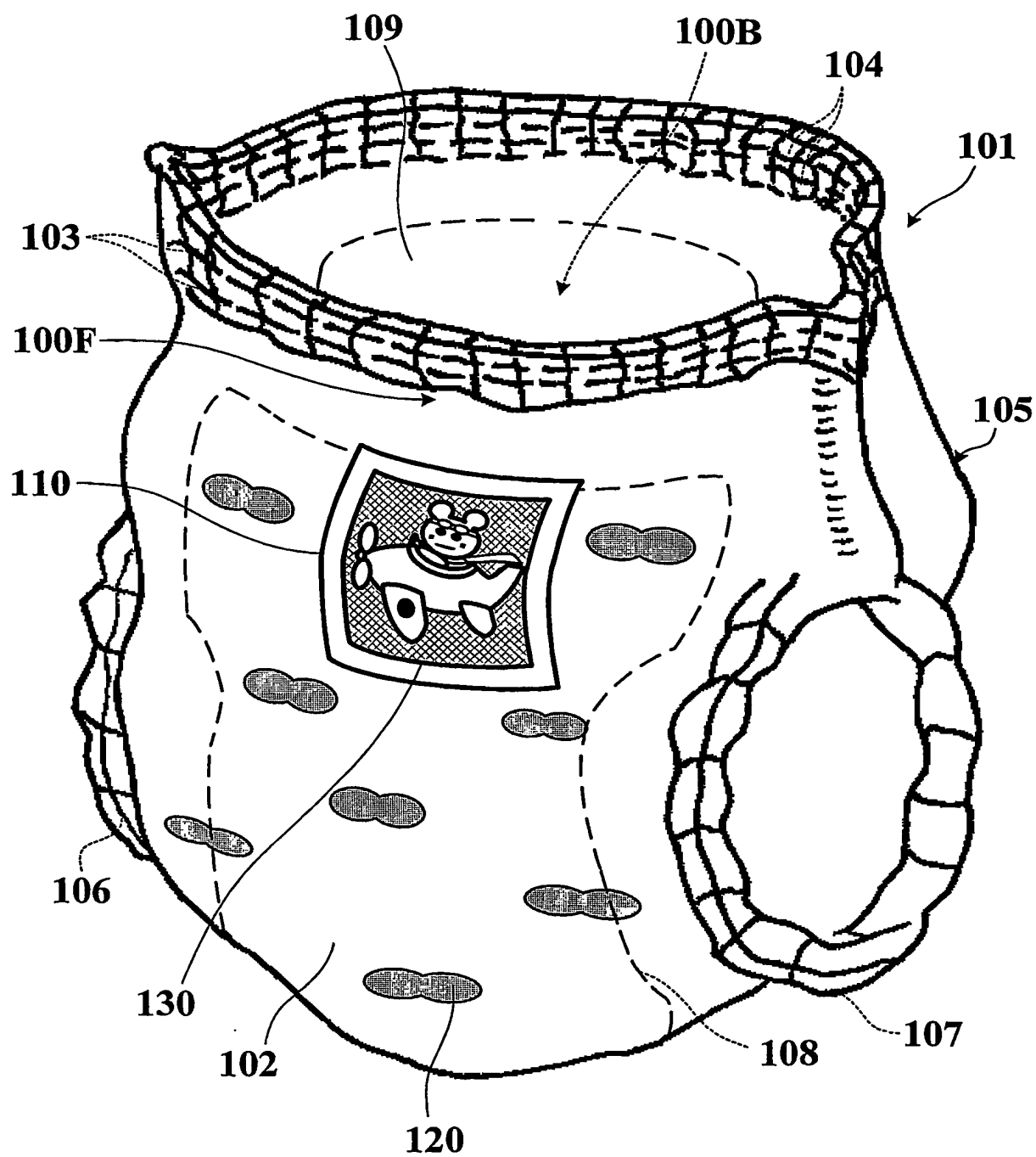
第2図



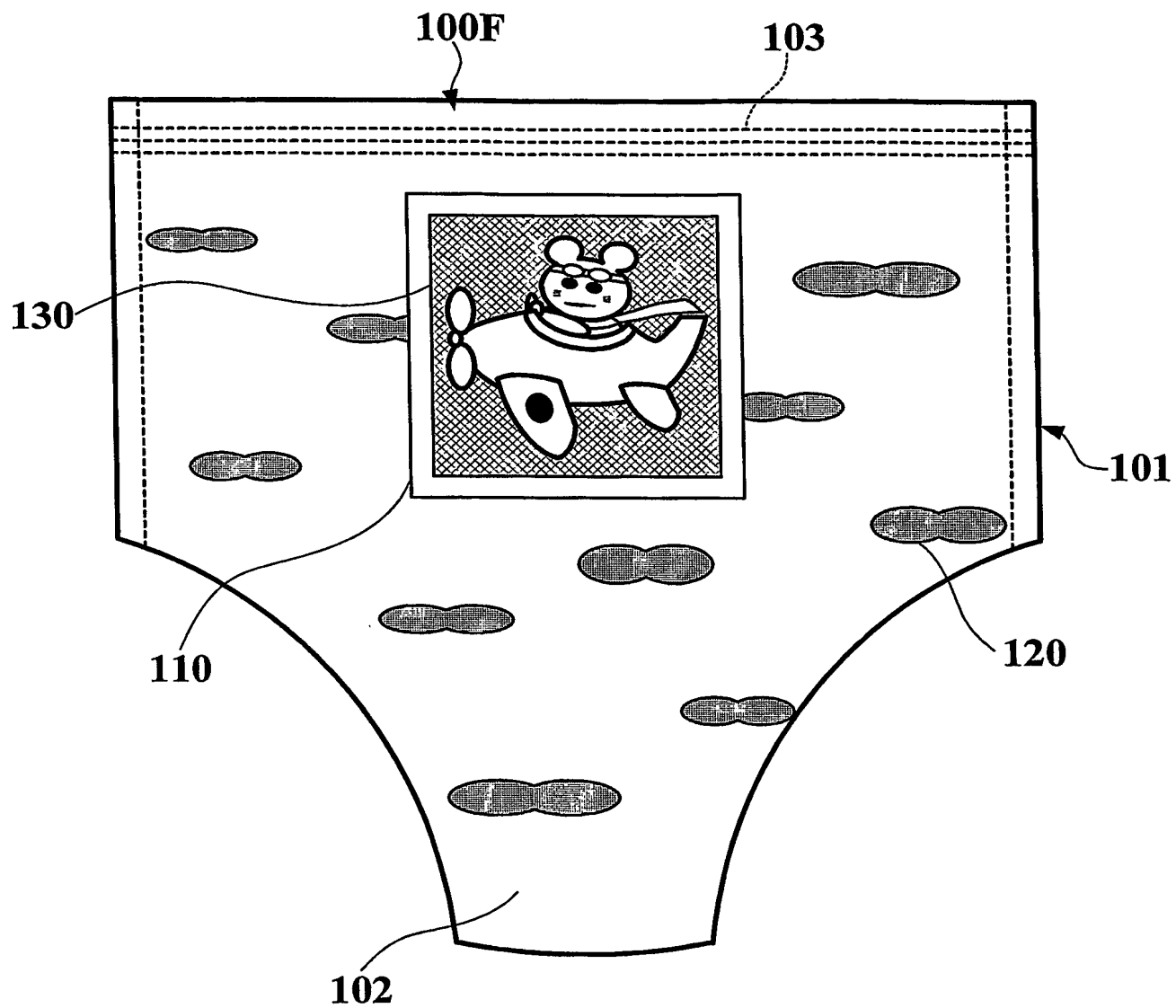
第3図



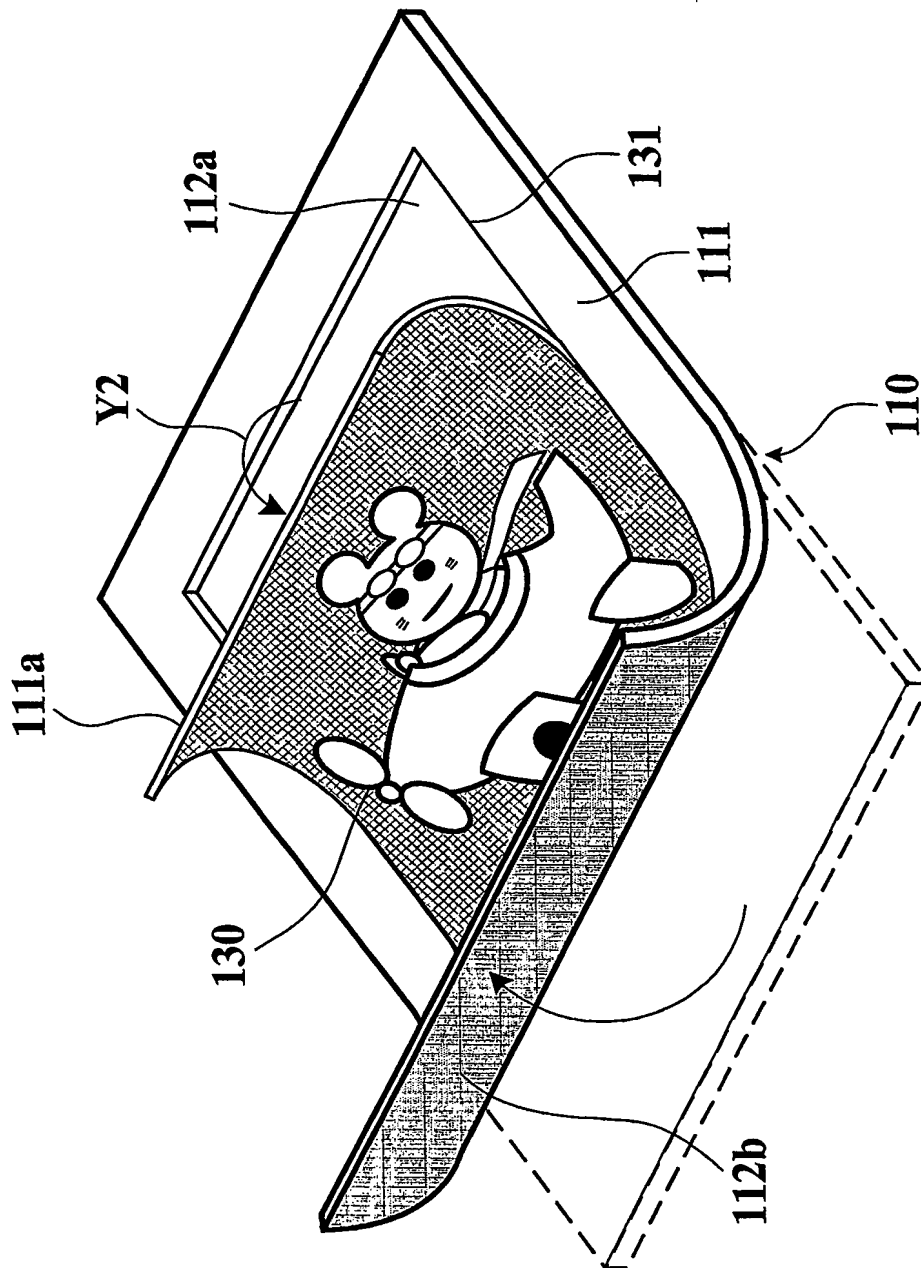
第4図



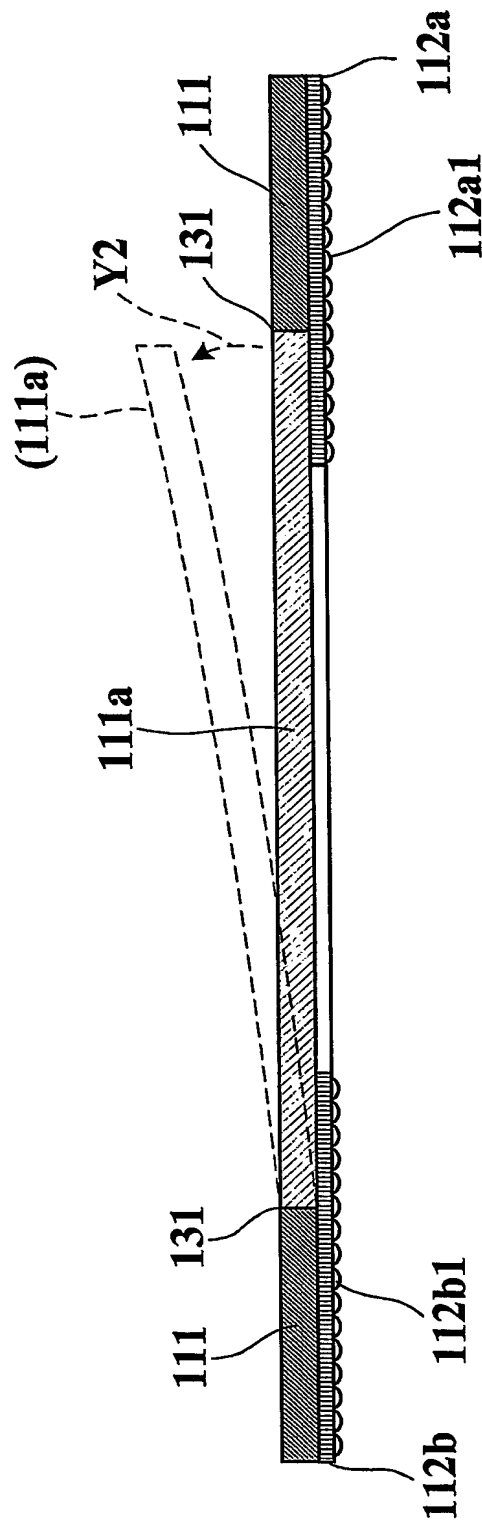
第5図



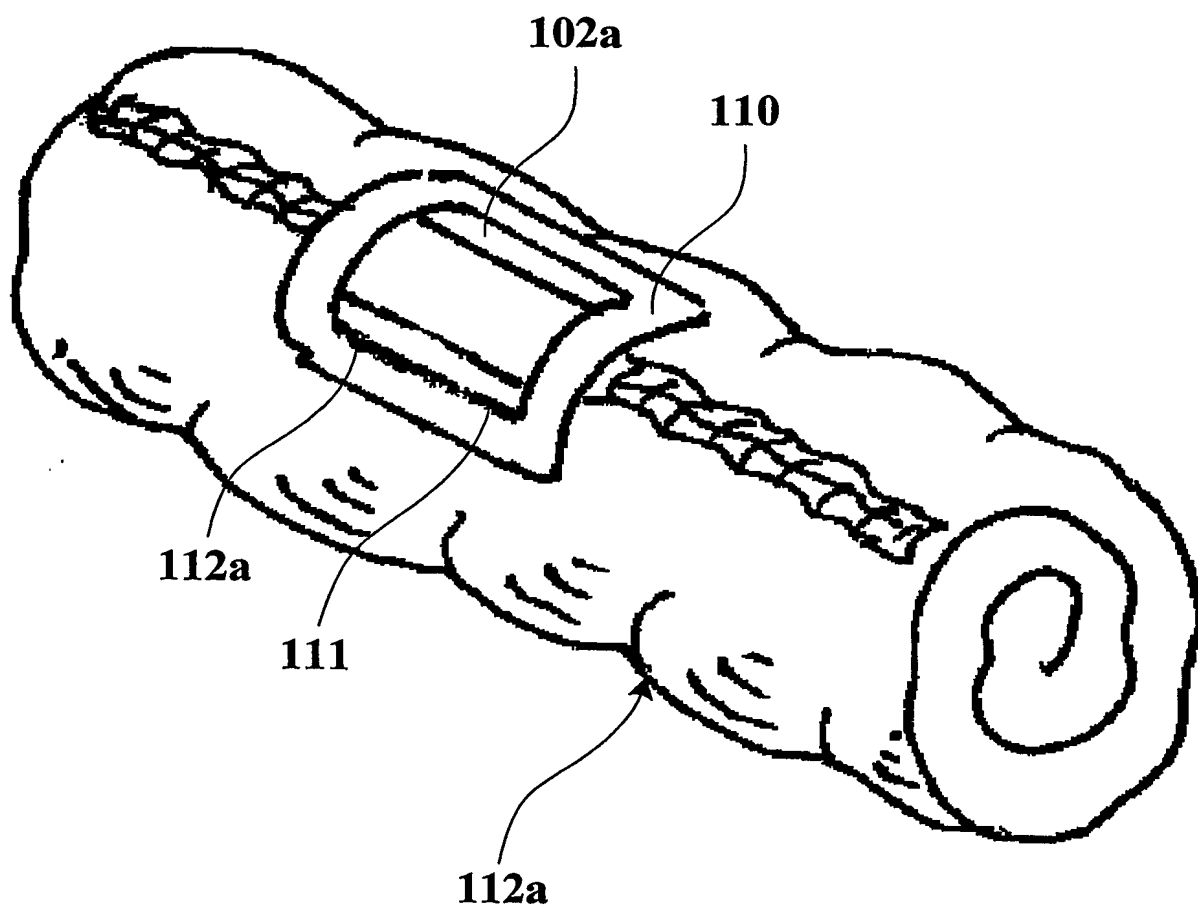
第6図



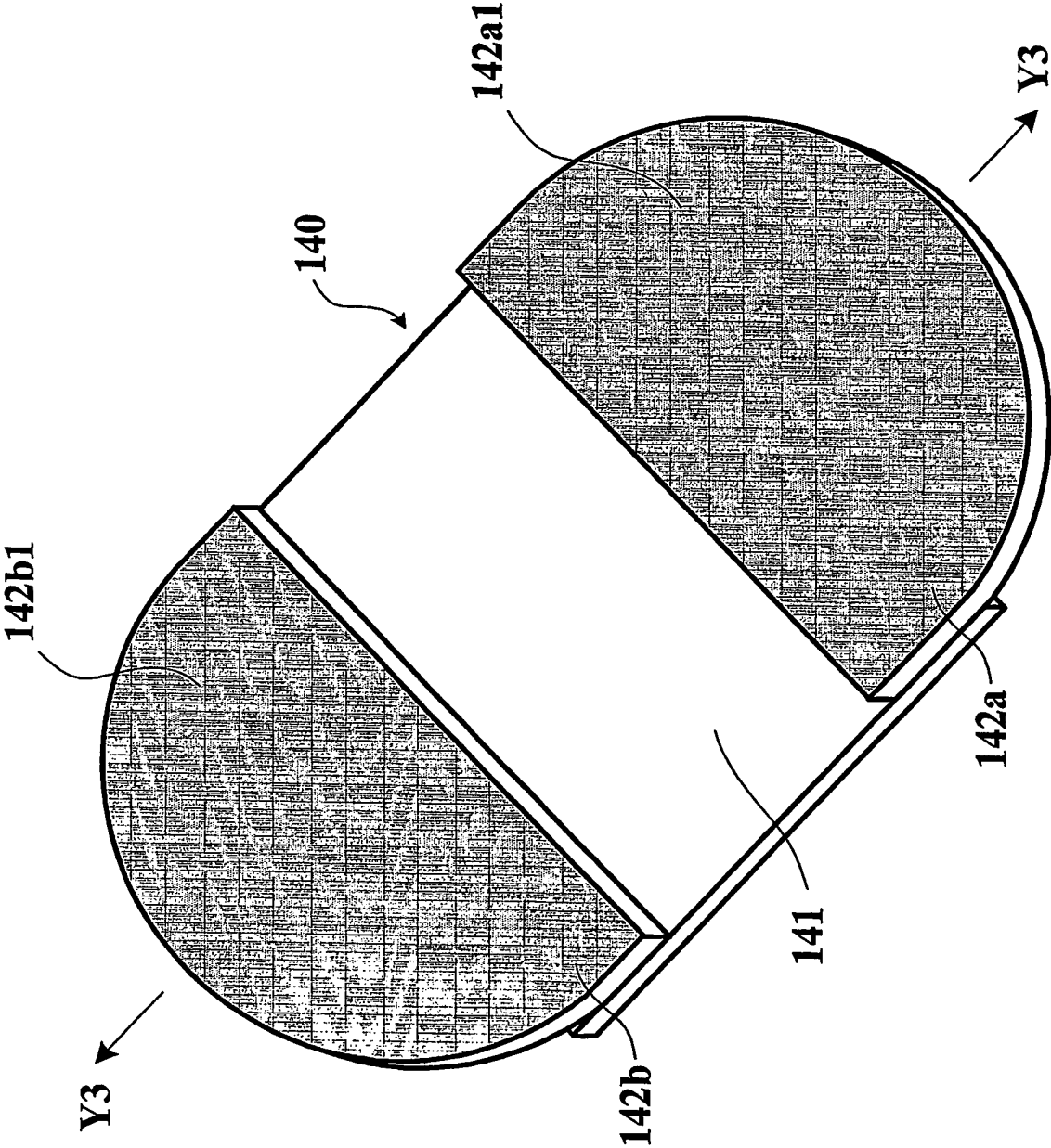
第7図



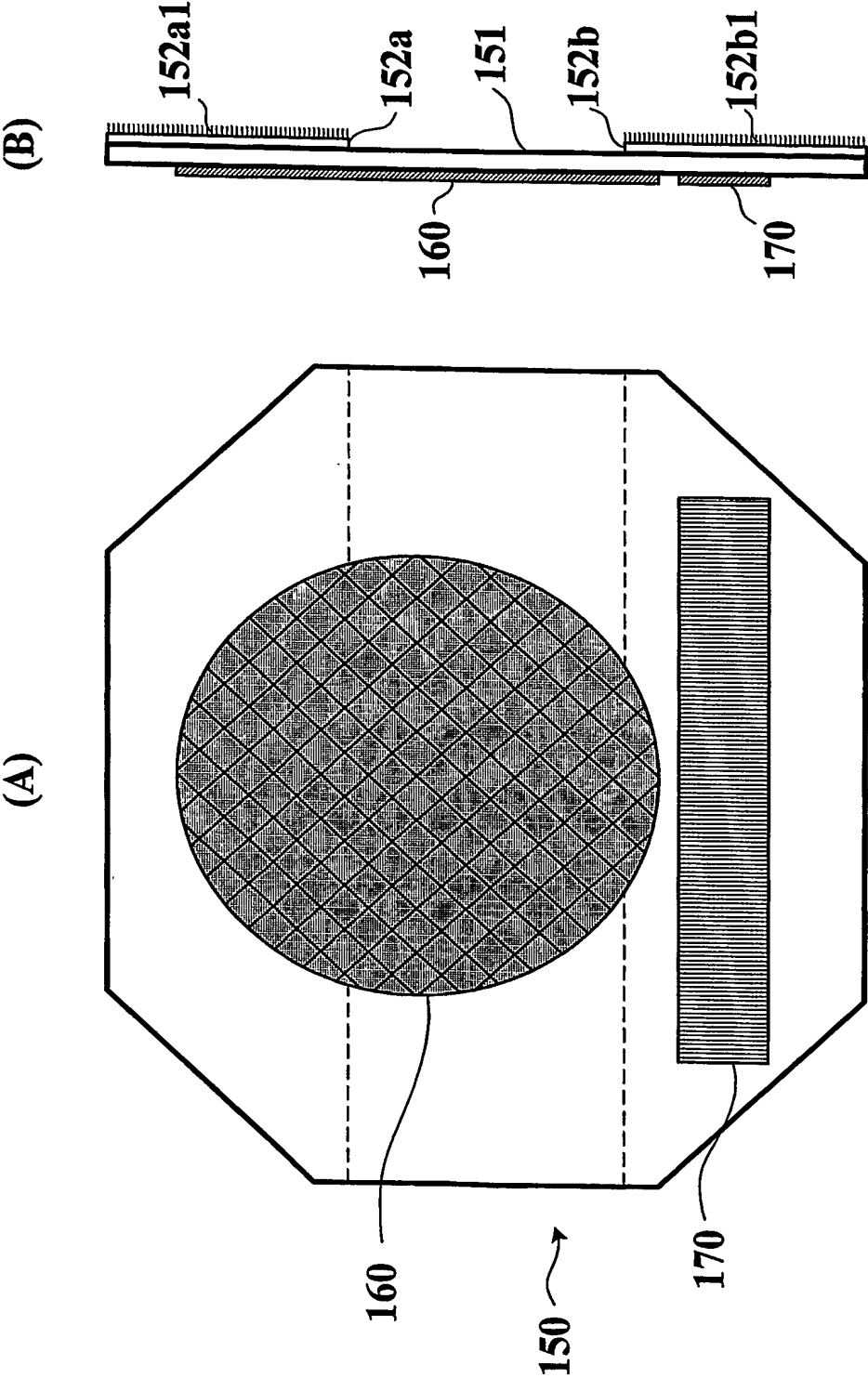
第8図



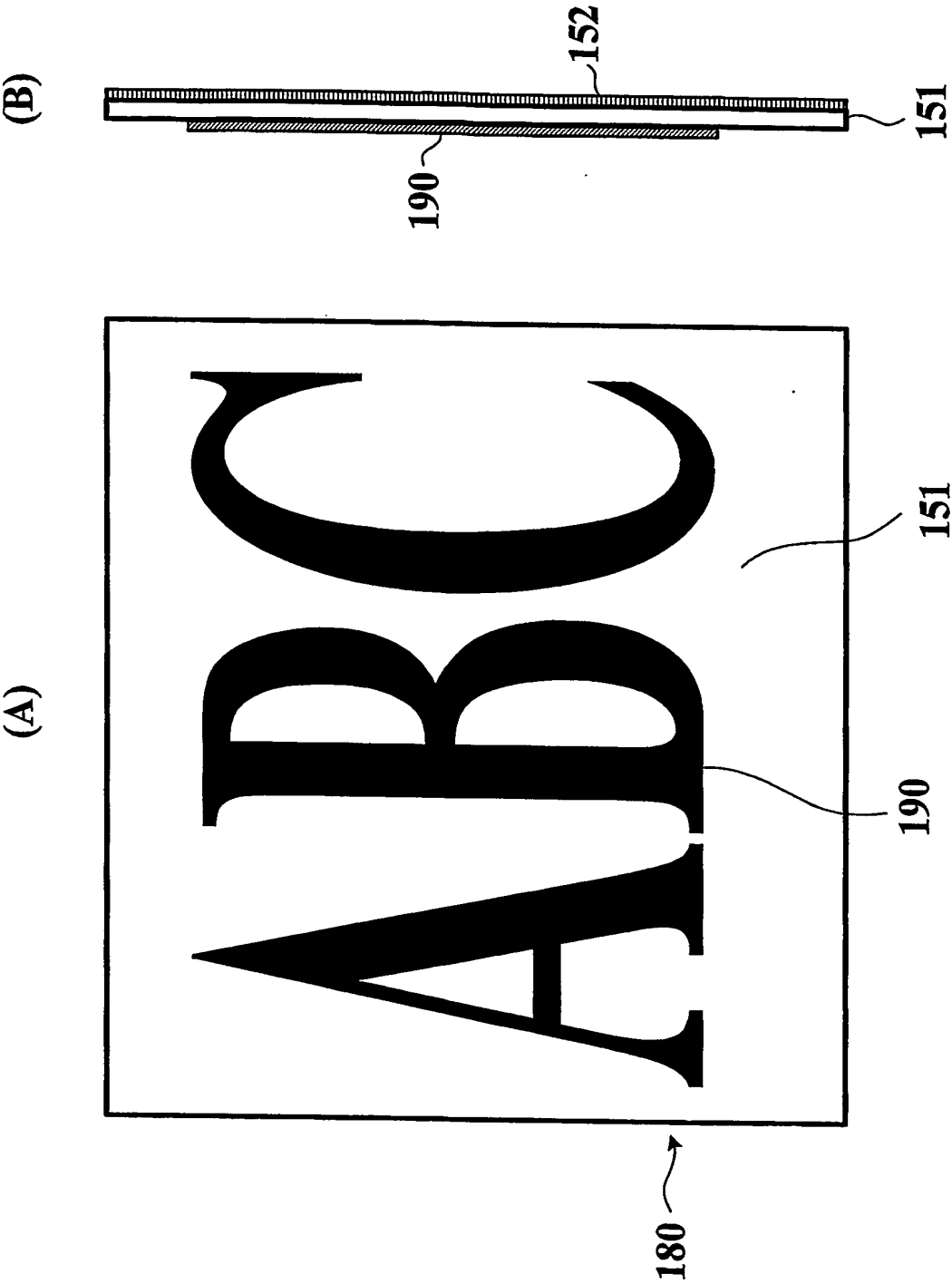
第9図



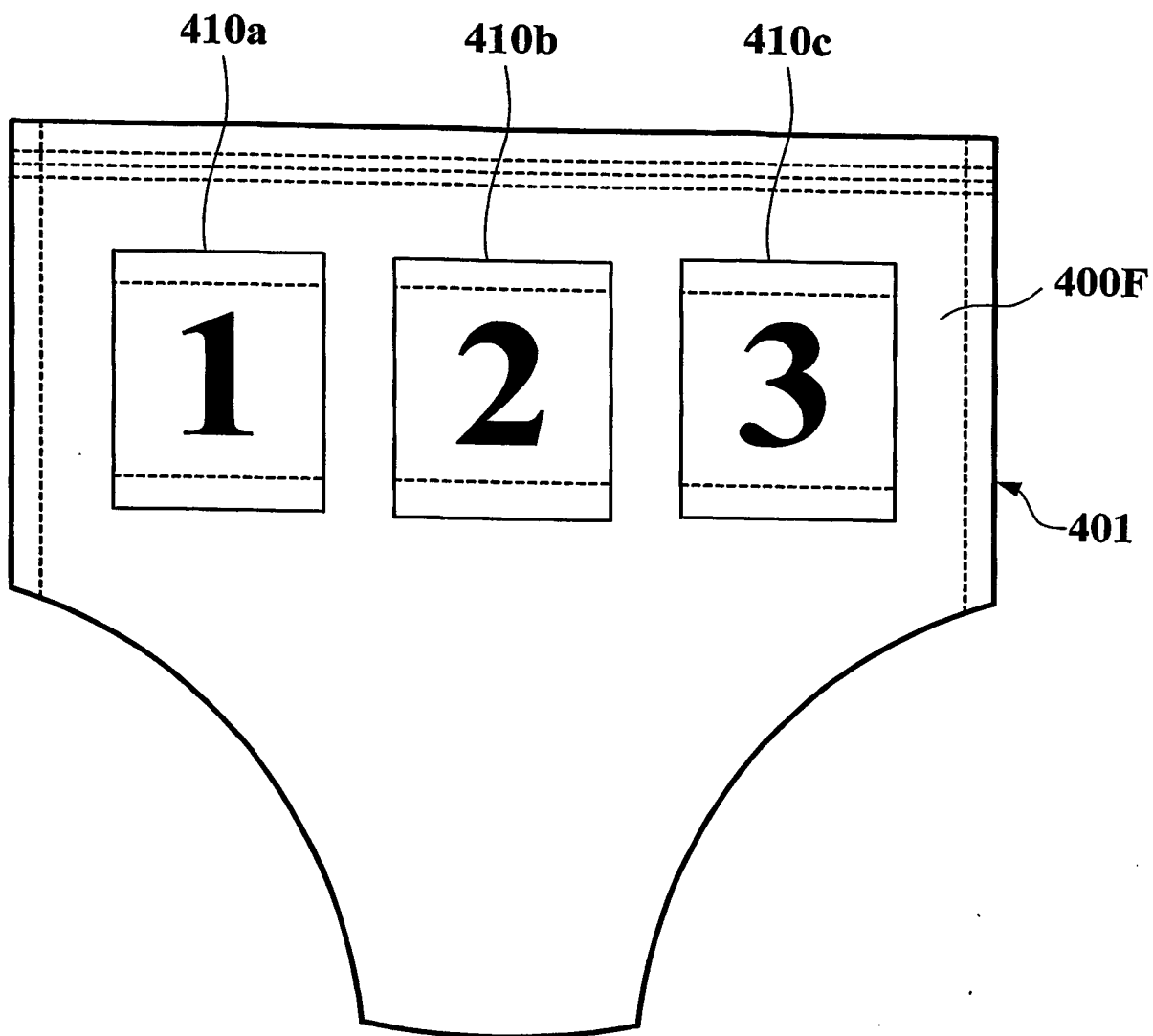
第10図



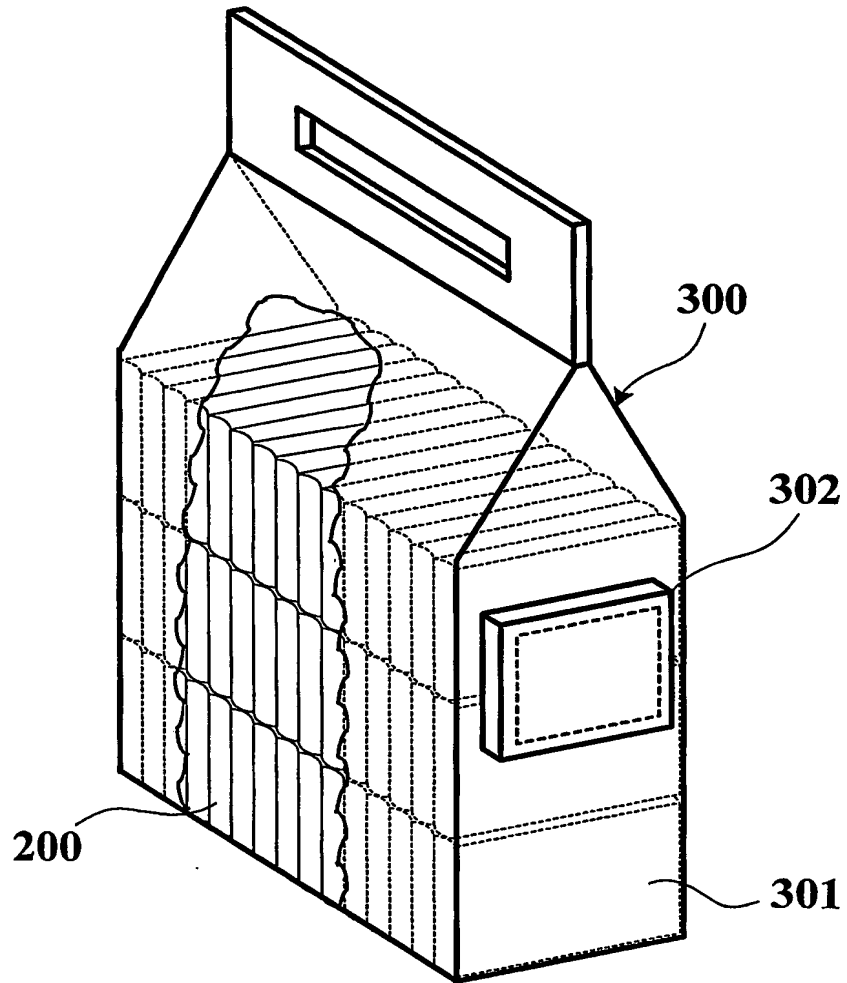
第11図



第12図



第13図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/009292

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A61F13/551

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A61F13/15, 13/40-13/84

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2000-107226 A (Kao Corp.), 18 April, 2000 (18.04.00), Par. Nos. [0007] to [0008] (Family: none)	1-5, 8
Y	JP 8-67860 A (Nitto Denko Corp.), 12 March, 1996 (12.03.96), Par. No. [0001] (Family: none)	1-5, 8
Y	JP 2003-111798 A (Daio Paper Corp.), 15 April, 2003 (15.04.03), Par. No. [0028] (Family: none)	3-5

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

10 August, 2004 (10.08.04)

Date of mailing of the international search report

24 August, 2004 (24.08.04)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/009292

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2-4372 A (The Procter & Gamble Co.), 09 January, 1990 (09.01.90), Figs. 6 to 7 & US 4869724 A & EP 529681 A1	8
A	JP 11-76296 A (Crecia Corp.), 23 March, 1999 (23.03.99), Full text; Fig. 3 (Family: none)	1-8
A	JP 7-171178 A (Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.), 11 July, 1995 (11.07.95), Full text (Family: none)	1-8
A	JP 9-95804 A (Toyo Eizai Corp.), 08 April, 1997 (08.04.97), Full text (Family: none)	1-8

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/09292

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☒ Claims Nos.: 9
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
The fixable emblem described in Claim 9 is one which is attached to or enclosed in a product package. According to Claim 1, however, the fixable emblem is one which is attached to the outer surface of the back sheet, and since Claim (continued to extra sheet)
3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.
☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/009292

Continuation of Box No.II-2 of continuation of first sheet(2)

9 quotes Claim 1, it lacks the requirement of definiteness defined in PCT Art. 6, even if the technical common knowledge at the time of application is taken into consideration.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F 13/551

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F 13/15, 13/40-13/84

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	J P 2000-107226 A (花王株式会社) 2000. 04. 18, 段落【0007】-【0008】 (ファミリーなし)	1-5, 8
Y	J P 8-67860 A (日東電工株式会社) 1996. 03. 12, 段落【0001】 (ファミリーなし)	1-5, 8
Y	J P 2003-111798 A (大王製紙株式会社) 2003. 04. 15, 段落【0028】 (ファミリーなし)	3-5
Y	J P 2-4372 A (ザ、プロクター、エンド、ギャンブル、	8

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

10. 08. 2004

国際調査報告の発送日

24. 8. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

ニッ谷 裕子

3 B

9339

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き). 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
	カンパニー) 1990. 01. 09, 第6-7図 & US 48 69724 A & EP 529681 A1	
A	JP 11-76296 A (株式会社クレシア) 1999. 0 3. 23, 全文, 第3図 (ファミリーなし)	1-8
A	JP 7-171178 A (三菱重工業株式会社) 1995. 0 7. 11, 全文 (ファミリーなし)	1-8
A	JP 9-95804 A (トヨー衛材株式会社) 1997. 0 4. 08, 全文 (ファミリーなし)	1-8

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT 17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
つまり、
2. ☒ 請求の範囲 9 は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
請求の範囲9に記載の止着ワッペン、製品パッケージに添付または封入されているものである。しかし、請求の範囲1によると当該止着ワッペンはバックシートの外面に取り付けられているものであり、請求の範囲9は請求の範囲1を引用するものであることから、出願時の技術常識を勘案してもPCT第6条における明確性の要件を欠いている。
3. ☐ 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるところの国際調査機関は認めた。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。